

# 国崎家の防災マニュアル

## 1. 非常時における家族との連絡方法

### 第一手段

→各自が NTT 災害伝言ダイヤル (171) にそれぞれの状況と避難先を録音し、家族の伝言を再生する。※録音再生には通話料がかかるけど、避難所の特設電話なら無料。

【録音】171 ⇒ 1 ⇒ ●●●—●●●●—●●●● (録音は10件まで30秒以内)

【再生】171 ⇒ 2 ⇒ ●●●—●●●●—●●●● (2日間保存される)

※※※171の暗証番号は●●●●※※※

### 第二手段

→みんなの携帯にかける。つながらなくてもあきらめず、場所を移動してかけ直す。

お父さんの携帯/●●●—●●●● お母さんの携帯/●●●—●●●●

### 第三手段

→自宅の犬小屋の中に、自分の避難先や状況を書いて貼っておく。

### 第四手段

→青森の祖父(●●-●●-●●●)に電話。家族の状況を尋ね自分の状況伝える。

## 2. 待ち合わせ場所と避難場所とルートの確認

待合わせ場所「●●スーパー」前の公園(くじらの遊具の前)

避難場所「●●小学校」

◎自宅からいく場合 \*徒歩でいつもの●●スーパーまでのルートで公園へ。

◎駅からいく場合 \*駅から東口の道路に出て、自宅方面にまっすぐ進んで保育園を右折

◎近くに火が迫っていたり、車が駐停車してたり、2時間待っても誰とも会えないときは安全だと思ったときに●●小学校に避難する。水害のときは高台にあるのですぐにここに避難。

\*公園から学校までは登校時のルートで避難。待ち合わせ場所、避難所までたどり着くのが状況的に困難なら各自で判断して近くの避難所へ。それを災害ダイヤルに録音する。

## 3. 地震がきたら

① すぐに身を守る体制になること。転倒・落下物から身を守る。

② 揺れが収まったら、靴やスリッパを履く。

③ 火の始末とドアをあけ、水を確保する。

④ 状況を把握して、必要なら避難する。

## 4. 家具や家の下敷きになったら

家族の誰かが下敷きになって動けなくなったら助けを求めに行く。

①近所の人 ②近くを歩いている人 ③自主防災組織 (●●自治会館)

⑤ 町内会館または避難所にいる人 ⑤災害ボランティアセンター(●●●●—●●●●)

⑥119番 ⑦110番 ※⑤、⑥、⑦は救助活動中に電話を試みること。

自分が下敷きになったら

①体のどの部分を動かすことができるのか確認 ②大声で助けを呼ぶ ③指先などを動かして、体の血行をよくする ④必ず助かると希望を捨てずにがんばること!

## 5. 家を離れる時は

①電気のブレーカーを落とす。 ②火元やコンセントを確認する。

③家の窓やドアの鍵を閉める。 ④家族の状況とドアに避難先を書いた紙を貼る。

⑤身分証明書、クレジットカード、生命保険の証券、家の権利証を忘れない。

## 6. 貴重品の取り扱い

身分証明書、クレジットカード、生命保険の証券、家の権利証の番号を控えておく。